



調法未熟ではありま
が只々至誠を以て専
當り私の一切を捧げ
くす覺悟で働きま
す御氣付のところは
赦なく御叱正と御指
と御鞭撻を賜はり致
す様吳々もお願ひ致し
す。誠に簡單乍ら紙
を拜借して一言御鈴
を申述べます。

自治會結成さる

トステカ實

農機具卸小賣登錄店
運動具配給登錄店
正華物産株式會社
取締役社長 原盛文
電話一九六八番
川內市大小路町一丁目一八番
萬年筆は信用あるパイロット
書籍雜誌
紙文房具
事務用品
合資會社
代表社員 藤崎哲
電話一〇四番
振熊本 五九一―番
學用紙と文具は信用第一の
なるはへ

五月十九日舊一
に次いで二七名参
等學校 P.T.A 結成
先づ十一時四分松
辞に始まり會則審
豫算審議等の後、

者草堂の人々の努力も水の泡と歸するであらう。ここに全會員の奮起を促す次第である。最後に生徒課の諸先生方、特に五利、篠原兩先生には多大なる御援助を頂きまして非常に感謝して居ります。

数か勝つてゐる。概略大表の如し。

△合格第一陣

今年の三月學窓を巣立つて世の中の荒波に飛び込んで行つた先輩の動靜は？

既報の如く

全	全	全	全	全	全
吉田	菊地	高城	畑田	萩原	長濱
一正	史憲	正臣	盛保	正行	優策

極上質大判大學ノート
紙數の多い英語帳
各種優秀インキ

古万年筆やシャープの軸をボールペンに
改造致します 何卒御利用下さい

オノハラ屋

川内市大小路町

PTA會長 田代 屯

も子供に許り勉強を強
まして二十数年間商人
の卒業生であり、只今
帝國銀行に働いて居り
ますとお叱りを受ける
かも知れませんが何時
教育に縁遠いと申し
舊川内中學校第十五回

議長推薦
會則審議
役員選舉
豫算審議

説明 父兄兩からも種々要望も出で結局會費は四十五圓に決定、尙圖書館費も十五圓と決定。

明 治 大
荒木準之助
全 小倉 幸造
全 新地 兼丸

早稻田大	福田喜久男
法政大	川上浩司
國學院大	原口法義

鹿經專
全
東郷 桐原 種靖
楊之
尙就職關係では
新 原 勝 治

ひてそくせ自分ではの道を歩いて理論より一すも勉奮しない、そして先生方に万事を委せした嫌ないうゝ気な私が今度由緒深い川内高等學校のPTA會長を仰せ付かりましたものだから、

先づ實際と言ふ風にちつた爲か高遠の理想を目指す學問は非常重大な事とは知り乍ら從來何かしら象牙の塔に立て籠つた仕事の

即した深い接觸を持
教育と言ふ風に進
居るに感ぜられ、洵
喜ばしい事と思ひま
PTAの在り方につ
ましても私はまだ一
生でありその運営も
くの素人で果してど

今春なにかしい校庭に
 立ちますとあそびに
 つた講堂あゝの教室と焼
 けない前の校舎など思
 ひ浮べ感慨一じほど、
 男女校舎ともなまされ
 に校舎も二分された
 居る昨今の諸先生や生
 徒等へ戴いて居る事
 は存じますが居る旨
 の御批判と御支授によ
 りまして、今年度私共
 に課せられた一大命題
 と致し度く考へて居る
 次第で御呈呈す。

執行委員	麥甲大郎	武本武重	全	上野	幸一
に依る委員	家村康作	田中證券	全	染川	董
	上野英作	島山泰子	全	宮里仙一	館
	精方 勝	徳重俊子	全	小濱田	幸
	笠原リウ	東郷幸子	全	山元	幸里
未永助次	松泉節子	全	篠原	治一	
(自治會館常務委員)		中央大	新地	兼久	

鹿經專	鹿工大	鹿工大	關西大	東京理大
鹿占	稻津	平川	西牟田	新屋
正七	卓様	皓一	剛	貢

新佐川	高城三申	本田忠
新屋貢	城井達	
熊本語專 仝	求名小	廣藤芳
仝	高城二中	水井哲
鹿工專	森永泰	西郷小
明治藥專	植苗晃	里見新
東洋音樂	小山清文	川野光
流布歌專	篠田晴陽	菅政
所地學丸	平佐藤脇	束田政

違ひの者で内心惶恐恐
縮致して居る次第であ
ります。御父兄の皆様
方には初めてで御座居
ますので甚だ潜越乍ら
自己紹介をさして頂き
ますが、私は川内市の
磯村下東郷村の生れで
りませんでした。が併
し終戦を轉機として大
まきは日本が少くは
私共々々の生活環境が
ガラリと變りました様
に學校教育も基本的な
一大方向轉換が行はれ
今日では私共貴社會に

様、に對し申し譯ない
でありますが川内市
外並に先生方にも由
時代の先輩や知人が
られこれから御指導
で戴く上に好都合な
と心強く仕合せに存
て居ます。

徒諸君の不便不自由ゆ
りには「賃けたらか仕
方がない」と言ふ前に
「何んとかして一日も
早く再建したい」と強
く考へるのは御父兄の
皆々様も御同感の事と
信じます。素より新様
な事はP.T.A.の問題で
は御承知の様に原順
の履行、ドツチ勧告案
徴税の徹底化等一連の
施策は農村の金詰り而
て店街の賣行不興等相俟

つて實に甚々ならぬものと予想致されるのでありますが併し私共はここの死線を越えてこそ始めて希望の明日を迎えるのであります。日常御身邊其の他洵に御多端事とは思ひますが共に／＼手を握り力を合はして、お互ひの可愛いそしてやがては日本再建の柱石となる子供達の爲に一日も早く學校が完備致します様御協力賜ります事切に／＼お願い致します。以上甚だ簡單乍らですが御挨拶として申し述べ

ましたものの何分文藝
も不得手な上に想も攝
らず其の意を盡し得ず
且つ緒事不行届の者で
御座居ますが、お氣付
の点はどし／＼御勸告
下さいます様皆様の方
にお力添へを得て貴校の
爲いさ／＼かなりとも希
しい信念であります

東京都大	企	日本体育大	山口秋知	中原邦治	築義廉	旭化成	泰平
京都榮專	田中	秀昌	川内稅務	原山	安		
早京院	原	一郎	川内帝銀	森下	壽		
稅務講習所	小原光男	運輸省					
關西外事專	平島登	恩給局					
日本体育大	山口秋知	八幡製鐵	有村義				
企	中原邦治	全					
		日本鋼管					
		大田					
		瑞					

奉迎

天皇御臨幸

川内高等學校生徒一同

100